

七よやま

No. 147
議会だより
12月定例会



今日から大人の仲間入り

(関連記事 P16)

12月定例会あらまし	-----	P 2 ~ 3
質疑あれこれ	-----	P 4
9人が一般質問	-----	P 6 ~ 15
翔びたて豊山っ子!	-----	P 16

<http://www.town.toyoyama.lg.jp/>

町のホームページから
会議録がご覧いただけます

町議会 をクリック



設置工事始まる!!



新給食センターイメージ図

一般会計補正予算で給食センター造成工事費2億5200万円のうち今年度の工事費分1008万円を可決しました。造成工事の内容はよう壁・盛土・側溝設置工事が予定されています。

一般会計補正予算

4317万円を追加し、総額67億7410万円となった。

おもな項目	補正額	おもな補正の理由
障害者福祉費	1289万円	障害者福祉サービス給付費増額
福祉医療費	1461万円	精神障害者医療費 後期高齢者福祉医療費の増額
児童措置費	527万円	児童手当の増額
学校給食費	1008万円	給食センター造成工事(今年度分)

◎万円で端数調整をおこなっています。

12月
定例会の
あらまし

第4回定例会が12月3日から14日まで開かれました。専決処分の報告3件、町道路線の認定1件、一般会計補正予算1件、追加議案9件、議員提案による決議議案1件、いずれも原案通り可決しました。

12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

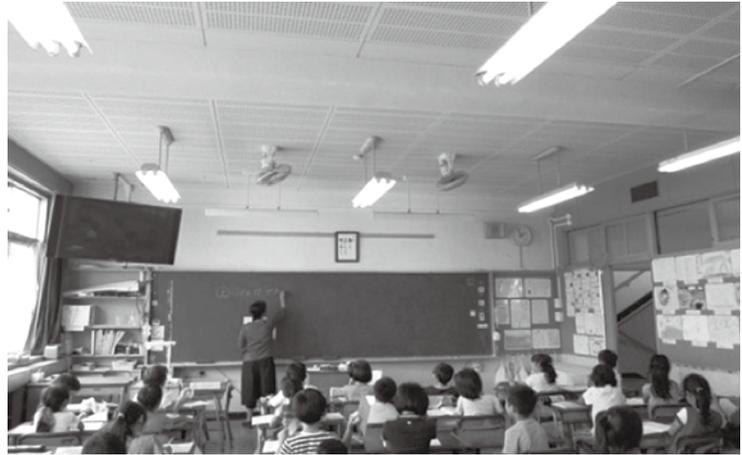
新給食センター・エアコン

小中学校

エアコン工事を可決

小中学校改修（空調設備等）工事について、全員賛成で可決した。

工事は基本的に土曜日・日曜日・祭日を利用し、平日に工事を行う場合には、学校運営に支障のないように進める。6月1日から全ての普通学級で運転予定。



普通教室（豊山小学校）

議場における国旗及び町旗の掲揚に関する決議

平成11年に「国旗及び国歌に関する法律」が制定された。これからの国際社会においては、各国の国民が交流し、友好を深め、平和を築くための相互の文化や伝統を尊重し、かつ、お互いの国旗や国歌に敬意を表することが大切である。

日の丸は、オリンピックなど大規模な国際交流の場において、国家の象徴として、多くの人に受け入れられ、町内における主な行事（入学式、卒業式、運動会等）には、国旗が掲揚されている。

また、本町の町章は豊山町の「とよ」を明確に表し、本町の象徴として広く町民に受け入れられている。

本町議会議員は、国旗及び町旗のもと、国際社会の一員、かつ、町民の代表であるという意識を高揚させ、本町の将来に向けた諸施策の提案及び審議に臨むため、豊山町議会議場に国旗及び町旗を掲揚するものである。

以上、決議する。

平成30年12月14日 豊山町議会

審議結果

番号	議案	審議結果
議案第69号	町道路線の認定について	全員賛成可決
議案第70号	平成30年度一般会計補正予算(第4号)	全員賛成可決
議案第71号	工事請負契約の締結について(小中学校エアコン設置工事)	全員賛成可決
議案第72号	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	賛成8反対1可決
議案第73号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	全員賛成可決
議案第74号	職員の給与に関する条例の一部改正について	全員賛成可決
議案第75号	平成30年度一般会計補正予算(第5号)	全員賛成可決
議案第76号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成可決
議案第77号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	全員賛成可決
議案第78号	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成可決
議案第79号	平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	全員賛成可決
決議第1号	議場における国旗及び町旗の掲揚に関する決議	賛成8退席1可決

12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

質疑あれこれ

開発では袋小路の形状が多く、建売の分譲住宅であることから、トラブルも想定され、下水道整備も町道とした方が住民サービスとなると考え、平成24年4月から帰属を受けている。

一般会計補正予算

福祉医療費

精神障害者医療費

616万5千円

道路線の認定

豊場字栄の土地を、開発行為により帰属を受けた道路を町道364号線として認定する

Q いくつかのからどんな理由で開発業者からの申し出を受けるようになったのか。

A 袋小路は公共性が低いとの理由で、以前は帰属を受け入れなかった。しかし、

A よう壁、盛土、側溝の工事を予定している。工事車両は小牧方面からの出入りを予定している。騒音など、近所迷惑にならないよう慎重に進めていく。

Q 周辺の道路整備代は入っているのか。

A 入っていない。建設が落ち着いてから、周辺の道路の工事を行う予定である。

Q 雨水対策はどうなっているか。

A 敷地下に雨水槽を設置する予定で、県に手続きを行っているところである。

Q 給食センターの排水はどうするのか。

A 施設の排水は、南側道路にあるカルバート水路を通すようにしている。

1007万8千円

Q 今年度分が1007万

8千円と聞いているが、どういった工事を行うのか。

工事車両、騒音対策は。



賛成討論 vs 反対討論

議員の議員報酬、費用弁償および期末手当に関する条例の一部改正

人事院勧告により特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に伴い、議員の期末手当を0.05月増やす改正

住民の合意を得ながら決定を

(山本亮介議員)

地方議員の報酬額は、自治体の予算、人口、面積、議員数などの条件を基礎にし、住民の合意を得ながら決定されるべき。議員は、労働者とは一律に論じることができないと思う。

反対

賛成

人事院勧告を尊重

(岩村みゆき議員)

自分たちの働きや報酬を、自分たちで決められるのか。誰が決めるのか。私は、第三者であり、公平性の観点からも人事院勧告を尊重したい。よって、原案に賛成する。

福祉建設委員会視察(11月15日)

東郷町、豊田市を視察した。

東郷町では「子育てするなら東郷町」のキャッチフレーズで、切れ目なく、きめ細かな支援策を実施している。また、東郷町児童発達支援事業所ハーモニーは、現場の保育者の意見を十分に取り入れ、子どもの発達に配慮のある施設だった。

豊田市の環境学習施設「エコっと」では、学童期からごみの焼却現場を見学し、ごみ減量について学べる施設となっていた。また、西春日井衛生組合が管理している藤岡最終処分場も視察した。

先進的な子育て支援やゴミの最終処分のあり方を考えさせられた。



総務文教委員会視察(11月6日)



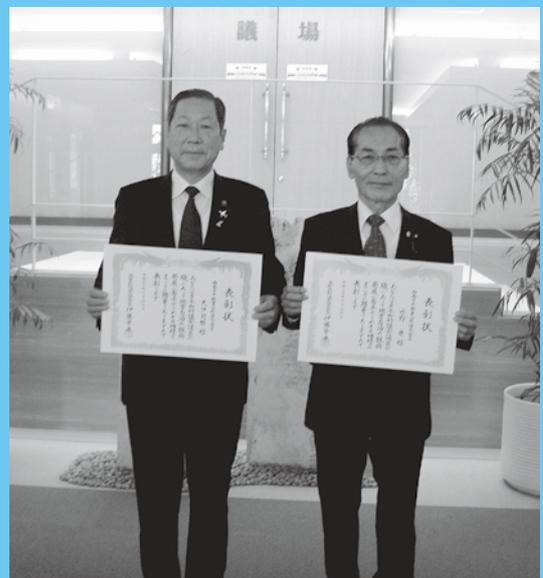
小中学校校舎が老朽化している現状から、平成20年以降に小中学校校舎の立替えが行われた大口町を視察した。

中学校では、生徒が授業ごとに教科の教室へ移動する教科センター方式を取り入れていた。また、南小学校では各学年ごと教室の壁が無く、一緒に授業できるワークスペースを設けたり、自然エネルギーを活用したエコ設備を導入したりしていた。

豊山町の施設に無いところがたくさんあり、今後の教育環境のあり方について考えさせられた。

自治功労者表彰

12月3日、大口司郎議員、水野晃議員が、議員在職15年の自治功労者表彰を受けましたので、表彰伝達を行いました。



一般質問ライオンナップ

あなたの想い、議会へ

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

12月10日(月)9人が質問に立った。
一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、太字2問まで掲載

1	安藤春一	●集中豪雨・洪水の備えを ●「通学道路」と「自転車」の安全対策は	P.7
2	栗田昌子	●「思い切った施策を」	P.8
3	熊沢直紀	●子育てにやさしいまち・豊山町について	P.9
4	坪井孝仁	●ギネス記録に挑戦は ●公共交通について ●町長の第5次総合計画にかける思いは	P.10
5	岡島政信	●緊急通報システムについて ●町財政運営等について	P.11
6	岩村みゆき	●もっとヘルプマークの周知を ●保育園への送迎の安全確保を ●子育てアプリの活用について	P.12
7	大口司郎	●とよやまタウンバス運行について	P.13
8	山本亮介	●国保の法定外繰入金削減による影響を 軽減するための施策の実現を	P.14
9	坂田芳郎	●火災予防／啓発運動の重要性を確認する	P.15

◎全文記録(議事録)は、3月上旬に町ホームページ掲載しますのでご覧ください。

12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問



あんどうはるいち
安藤春一 議員

Haruichi Ando



Q. 集中豪雨・洪水の備えを A. 現場で学び町内把握につとめる

治にいて乱を忘れず。来夏の豪雨シーズンに向けて、準備を怠りなく。

Q 大山川の両岸に高木が目立つ。住民は豪雨時の堤防損壊の危険を案じている。

A 産業建設部長
県は定期的にパトロールを実施している。現時点では、流水を阻害する恐れはないと、判断される。今後も県との情報交換を図り、的確な対応を要請して頂く。

Q 職員一人一人が町内事情を知ることが大切。平時も同じ、個々の意識が第一と思う。管理・監督にある人は、どのように導いているか。

A 総務部長
管理監督にある者は、自分自身が町内把握に努め、職員と一緒に向き、現場での「気づき」

や「学び」を経験しながら指導して頂く。

Q 「年間雨量」に関して、特別な意識はあるか。住民に対し、わかりやすく発信を試みたかどうか。

A 総務部長
年間雨量との対比で、より身近な雨の「強さ」や「降り方」を伝えるとの提案と思う。町広報で災害特集や日常を通して、迫りくる豪雨災害のイメージを迅速かつ分かりやすく伝えるつもりです。



▲増水した大山川

Q. 「通学道路」と「自転車」の安全対策は A. 交通安全教室を行っている

ひと昔前に比べ、車社会は激変した。子どもたちの安全は守られているだろうか。そこで子どもたちと関わりの大きい自転車の安全策を問う。

Q 園児や低学年(3年生)は親子での自転車教室が大切と思う。保育園と学校の現状は。

A 教育委員会事務局長
小学校3年生を対象に年1回、警察やPTAの協力により実施している。

A 生活福祉部長
保育園では年4回、親子で交通安全教室を行っている。



12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問



あわ た ま さ こ
栗田昌子 議員

Masako Awata



12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

Q.トイレ洋式化の推進を A. 優先度の高い課題として検討

まちづくりには、思い切った施策が必要である。その観点から、女性用洋式トイレの増設、弱者の視点に立った施設整備、大災害発生時の避難所対策について質問する。

Q 迫る南海トラフ巨大地震に対する備えには、「スフィア基準」を研究すべきではないか。

A 総務部長
避難所のスフィア基準は、内閣府の「避難所運営ガイドライン」で、参考にすべき基準としている。

町の地域防災計画では、内閣府の指針を踏まえ、要配慮者にも配慮した施設・設備の整備に努めることとしていることから、スフィア基準についても勘案する。防災・減災対策とともに、スフィア基準も研究し、避難所の施設・設備の整備を進める。

Q バリアフリーやユニバーサルデザインの観点から、公共施設をチェックしているか。改善したところはあるか。

A 総務部長
建築年が古い施設は、必要に応じて設備等の改修をしている。役場庁舎の和式トイレへの手すりの設置、1階カウンター上の案内板のカラー表示、多機能トイレのLGBTに対応した案内表示の見直し、多言語に対応したデジタルサイネージの設置を行なった。

Q 社会教育センターの女性トイレの洋式化を急ぐ必要があるのでは。産業祭では、女性用トイレは長蛇の列だった。

A 教育委員会事務局長
社会教育センターのトイレを洋式化することは、早急に検討すべき課題であると認識している。しかし、トイレの洋式化は

給水管や配水管の改修も加えた大規模な工事になる。洋式化は優先度の高い課題として検討する。

Q 大腸がんが増えてきている。オストメイト使用者数は。対応したトイレの設置は。

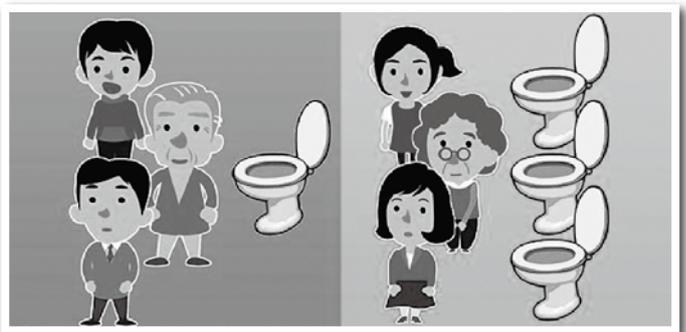
A 生活福祉部長
オストメイト使用者数は、21名。各施設に障害者に必要な機能を有したトイレ設置も検討する。

Q 備蓄している簡易トイレの数と購入予定数は。

A 総務部長
組み立て式仮設トイレが3台、災害用マンホールトイレが10台、簡易トイレが20台。各小学校区自主防災会に組み立て式仮設トイレを各1台、計3台。トイレ数は内閣府の基準を45基下回っている。ので計画的に購入する。

Q 避難所のスペースも大きな問題では。せつかく生き延びたのに避難所のせいと、命を落とすことのないように。

A 総務部長
避難所の質の向上に取り組み。避難所宿泊訓練等の体験・検証を通して、整備に反映させる。



▲女性のトイレは男性の3倍必要



くまざわ なおき
熊沢直紀 議員

Naoki Kumazawa



Q. もっと子育てにやさしいまちへ A. 現行制度を維持する

12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

Q この新聞広告は、地方法活性化を進めるための、いわゆるシティブロモーションとして行われたことか。また、かかった費用はいか程だったか。

A **総務部長** 中日新聞からの依頼によるもので、各自治体の子育て支援の特集の企画であって、シティブロモーションではない。よって支払った費用は無い。

Q 安心して子供を産み、育てて頂くためには、今の子育て対策では不十分と思う。東郷町では、子育てするなら東郷町として、高校生までの入院・通院の無償化の実施を前面に出している。

A **生活福祉部長** 東郷町では、子育てするなら東郷町として、高校生までの入院・通院の無償化の実施を前面に出している。また、小中学校の給食費の未払いもあると聞くが、これも無償化すべきと思うがいかがか。それだけの当初予算が必要か、それぞれの費用を試算してお答え願いたい。

A **教育委員会事務局長** 高校生までの入院・通院の費用は約1千万円である。当面は現行制度を維持する。

A **教育委員会事務局長** 食材費として年間約7千万円が必要となる。県下すべての自治体が保護者負担としている



▲子育てがんばっています

状況から、現段階では考えていない。

Q 子供が大学を卒業するまでに約2千万円必要とも聞く。子供の高校・大学卒業までには家の建築費の返済や家賃の支払い等、金銭的苦労の時代が続く。そこで豊山町独自で、希望があれば

れば高校・大学の全額または半額の学費補助を行い、就職後分割返納制度を設立してはどうか。

A **教育委員会事務局長** 町独自の私立高等学校の補助を行っている。国は平成29年度に奨学金制度の大幅拡充を実施した。これら国の制度を奨励してまいりたい。



つぼいたかひと
坪井孝仁 議員

Takahito Tsuboi



12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

Q.ギネス記録に挑戦は A.断念する

今年度の「ヒコーキのまち推進事業」で豊山町の知名度を高めるとともに町内外から参加者を募ることで、まちの交流人口や滞在人口の拡大を図り、町内の産業・観光の活性化を目的とするギネス記録に挑戦する事業が予定されていた。いまだに具体的な内容など伝わっていない。

Q この事業の進捗状況は。

A 副町長
ギネス記録への挑戦は「2000人で紙飛行機を折り、同時に飛ばす記録」に挑戦することを目指し、イベント開催に向けて会場の選定や開催日の調整など、イギリスのギネスワールドレコード社とも協議しながら事前準備を進めてきた。しかし、協議を進める中で「紙飛行機を折り、同時に飛ばした人数」の

記録ではなく「紙飛行機を同時に折った最多人数」の記録であることが判明した。さらに「記録挑戦に関するガイドライン」によるとギネス記録と認定されるためには「2000人の全参加者が同じ空間で最低でも15分間、紙飛行機を折り続けること」とルールに示されていた。ギネス記録の詳細が明らかになり、当初目指していた「紙飛行機を折り、同時に飛ばした人数」のギネス記録に挑戦は、事前の情報収集不足が大きな原因で断腸の思いで中止とした。



Q. トップセールスで 小牧駅延伸を

A. 相当困難である

今年度からタウンバス北ルートが見直され、試行期間としてエアポートウォークへつながった。来年度も運行されるよう強く要望する。また更なる利便性を求め乗り換えなしで小牧駅までの延伸を求め、今年度3月定例会において質問した。答弁では、他のバス路線と競合するため事業間での調整が難しいと答弁を受けたが。

Q 小牧駅までの延伸について、事業間レベルでの調整が手詰まり状態であればトップセールスでの話し合いを期待する。公共交通の利便性が低いことは町長も承知であると思う。町長の考えは。

A 産業建設部長
小牧市の公共交通会議に諮り、既存バス事業者等の理解を得て、競合する事業者と調整することは相当困難と考

Q 北ルート試行運転の経過実績は。

A 産業建設部長
4月から10月までの7カ月間で14.7%増加している。

える。



おかじままさのぶ
岡島政信 議員

Masanobu Okajima



Q. 緊急通報システム制度の拡大を A. 対象者を拡大する考えはない

12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

Q 高齢者の単独世帯の安否確認は。

A 生活福祉部長
高齢者などを対象に日常業務の中で町民の方々と接する機会の多い事業者と協定を結び、見守り活動を行っている。

緊急通報システム装置を設置された高齢者には、月に一度の「お伺い電話」で安否確認を行っている。

Q 緊急通報システムの使用は何件か。

また、どのような方が対象か。

A 生活福祉部長
緊急通報システムは、利用者が緊急事態にボタンを押すと受信センターに通報される仕組みとなっている。受信センターは登録された方へ連絡し、早期の対応に結びつけるものである。現在15名利用されている。

対象者は要介護認定または要支援認定を受けている一人暮らし世帯などである。

Q 高齢者夫婦世帯で一人が介護認定を受けていれば、設置が認められるようにできないか。

A 生活福祉部長
現行の対象者拡大は考えていない。



▲本体

▲ペンダント

Q. 将来構想(夢)は

A. 総合計画策定の中で 明らかにする

Q 目的基金の考えは。

A 総務部長
基金は経済事情の変動や災害の発生など財源不足が生じた場合に活用する財政調整基金と、6つの特定目的基金を設置している。いずれも長期にわたる事業を計画的に実施するため、安定的な財源の確保を目的としている。

Q 豊山町の将来構想(夢)は。

A 総務部長
まちづくりの基本理念や将来像は、長期的な展望を見据えて定めるもので、新総合計画の策定に合わせて、必ずしも変更されるべきものではないと考える。

Q 財政調整基金はどれだけ積み立てる予定か。

A 総務部長
基金は財源に不足が生じた場合などに対応するため積立てている。

また、地方財政法第7条の規定に決算剰金の取り扱いが示されている。適性残高については、今後の事業計画により変わってくる。

将来構想は第5次総合計画を策定する中で明らかにしていく。



いわむら

岩村みゆき 議員

Miyuki Iwamura



12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

Q.もっとヘルプマークの周知を A.障がい者団体懇談会で紹介した

愛知県では、平成30年7月20日にヘルプマークがいつせいに配布された。

ヘルプマークとは、義定や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見からは分からなくても、周囲に配慮を必要と知らせることで援助を得やすくするもの。もっと広く認知されてこそマークの意味がある。

Q 障がい者の方の中にも知らなかった方がいる。各種団体の方へ紹介を行ってはどうか。

A 生活福祉部長
障がい者団体との懇談会でヘルプマーク制度を紹介した。各種団体との会議にて周知を図りたい。

Q 取りに来られない方はどうすればいいのか。郵送は。

A 生活福祉部長
愛知県のガイドラインでは、配布の適正管理の観点から、郵送は行わないこととしている。

なお、希望者が来庁できない場合、その方の家族や支援者にお渡しする方法を案内している。

Q 若い世代への周知として、小中学校の福祉実践教室や健康福祉フェスティバルでも紹介してはどうか。

A 生活福祉部長
福祉実践教室については、社会福祉協議会に周知を依頼する。健康福祉フェスティバルでは、リーフレットを来場者に配布する。

Q. 保育園への送迎の安全確保を

A. 送迎バス制度は考えていない

Q 富士保育園への送迎に苦言をいただいた。荷物は多いし道は狭い、朝は特に車が多い。近隣の方の苦情もあるとのこと。今のような状態は好ましくない。何か手立てが必要と考える。送迎バス制度を創設してはどうか。

A 生活福祉部長
道路事情によりルートが限定されるため、移動には所要の時間を要する。大幅な待機時間が生じ、利便性が低いことから、送迎バス制度は考えていない。

Q 富士保育園前に職員駐車場があるが、皆さんの安全確保のため、職員駐車場を別に近くに用意できないか。

A 生活福祉部長
今後は駐車場の確保について検討していく。



▲送迎の安全確保を



おおぐち しろう
大口司郎 議員

Shiro Oguchi



Q.とよやまタウンバス運行見直しは A.必要に応じ検討していく

12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

Q きたバス、こまぎ巡回バスとのジョイント運行は。

A 産業建設部長
両バスとの連携は、双方が持つ路線を有効に活用する意味では意義深いものと考ええる。現在、こまぎ巡回バスとは、小牧市民病院、小牧市役所、小牧市武道館北のバス停で既に接続しており、乗り継ぎができるので、今以上の連携は予定していない。

Q きたバスについては、乗り継ぎを前提としたバス停は設置していないが、公共交通網の拡充につながるものと考ええる。将来的な課題と捉え、必要があれば乗り継ぎのバス停整備やダイヤ調整など北名古屋市へ働き掛けたいと考えている。

A 産業建設部長
医療機関を巡回する運行は、タウンバスの現行ルートでも町内の各医療機関の近くまで行くことができる。町外の医療機関についても、国立病院機構名古屋医療センターと小牧市民病院の公立病院へ行ける。名鉄バス、あおい交通バスも含めると、済衆館病院をはじめとする多方面の医療機関へ行くことも可能で、一定程度の医療機関を網羅しているものと考えている。今後、ルート変更を見る

Q あおい交通バスが運行中の勝川駅行の青山経由設定は。

A 産業建設部長
勝川駅へ向かうバス路線は、県営名古屋空港と勝川駅を結ぶ最短ルートであり、バス停についても効果的に利用が見込める場所を厳選して設置していると考えている。青山経由ルートへの変更

Q 平日運行以外の時間帯および運転回数の見直しは。

A 産業建設部長
土曜・休日のダイヤ変更は、通勤・通学での利用がなく、平日並みのダイヤ変更は相当な費用が発生する事などにより、慎重に対応したい。



▲ジョイント運行の実現を



やまもとりょうすけ

山本亮介 議員

Ryosuke Yamamoto



12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

Q. 国保の被保険者の負担軽減策を A. 介護予防事業を継続する

Q

前回の一般質問では、国民健康保険（以下「国保」という）の法定外繰入金削減について取り上げた。当局として、法定外繰入金を無くしていくことによる負担増についてどのように認識しているのか」という質問に対し、「繰入金を削減することで、国保の被保険者にとって負担増となることは、十分理解している。将来、

県内の国保料が統一されることも考えられるため、法定外繰入金を計画的に削減していく必要があると認識している」と答弁があった。

法定外繰入金を削減するということは、その分、一般会計の財源が生まれることになる。国保以外のところで、補助や負担軽減策を実施することで、被保険者の負担軽減につなげるべきではないか。

A

生活福祉部長
国保制度改正の最大の目的は、法定外繰入金に頼らなくても、将来にわたって持続可能な制度を目指している。

法定外繰入金の削減による国保以外のところでの補助や負担軽減策を実施することは、町全体の施策から考えることであり、一概に回答できるものではない。

Q

このまま法定外繰入金の削減をすれば、約24%の被保険者、約34%の世帯の多くに負担増の波が押し寄せると。その波を防波堤のように守る役割を町政が果たし、何らかの対策を検討し、実施しなければ、町長の施政方針での「選ばれるまち」とは、かけ離れてしまうのではないか。被保険者の負担増はやむを得ないと手をこまねくのではなく、何か

できるものではないか。このまま法定外繰入金の削減をすれば、約24%の被保険者、約34%の世帯の多くに負担増の波が押し寄せると。その波を防波堤のように守る役割を町政が果たし、何らかの対策を検討し、実施しなければ、町長の施政方針での「選ばれるまち」とは、かけ離れてしまうのではないか。被保険者の負担増はやむを得ないと手をこまねくのではなく、何か

できるものではないか。このまま法定外繰入金の削減をすれば、約24%の被保険者、約34%の世帯の多くに負担増の波が押し寄せると。その波を防波堤のように守る役割を町政が果たし、何らかの対策を検討し、実施しなければ、町長の施政方針での「選ばれるまち」とは、かけ離れてしまうのではないか。被保険者の負担増はやむを得ないと手をこまねくのではなく、何か

A

生活福祉部長
今後高齢化の進展、寿命の延伸などにより、医療費の増加が予想され、被保険者の負担に影響を及ぼすことは喫緊の課題であると認識している。

このまま法定外繰入金の削減をすれば、約24%の被保険者、約34%の世帯の多くに負担増の波が押し寄せると。その波を防波堤のように守る役割を町政が果たし、何らかの対策を検討し、実施しなければ、町長の施政方針での「選ばれるまち」とは、かけ離れてしまうのではないか。被保険者の負担増はやむを得ないと手をこまねくのではなく、何か

このまま法定外繰入金の削減をすれば、約24%の被保険者、約34%の世帯の多くに負担増の波が押し寄せると。その波を防波堤のように守る役割を町政が果たし、何らかの対策を検討し、実施しなければ、町長の施政方針での「選ばれるまち」とは、かけ離れてしまうのではないか。被保険者の負担増はやむを得ないと手をこまねくのではなく、何か



とした特定検診の推進、また、健康マイレージ事業のような運動に関する目標達成者に優待カードを発行するなど、被保険者に直接還元される取り組みを行っている。

また、65歳以上を対象に、地域包括支援センターで運動や音楽などの介護予防教室などの介護予防事業を開催している。これらの取り組みの継続が被保険者の負担軽減につながることを考えている。



さかた よしお
坂田芳郎 議員

Yoshio Sakata



Q. 火災予防の啓発活動は A. 出初式や年末特別警戒など

12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

1人の不注意が、地区一帯を恐怖にたたき込み、あたり一面を焼け野原にと追い込む。

平成28年12月に発生した、新潟県糸魚川市の大規模火災は、延焼4万平方メートル。出火より鎮火まで、およそ30時間。焼失家屋は、147棟におよび、内83%が全焼した。そして、歴史ある町並み、思い出の品々は消えた。原因はコンロの消し忘れによるものであった。火元よりの賠償・弁済は実質において為されず、再建の足掛かりは、行政によるものとなった。本町は幸いにも、町当局、消防本部、消防団の日々の努力・活動によって大火を未然に防ぐことができた。一面、幸運であったとも言える。日々の淡々とした変わらぬ生活の中で、やもすると作り出してしまう顕著な人災。

私共議員としても、常日頃より住民各位の皆様に、火災予防に対しては特段の留意を戴きますようお願い致している。この場で尋ねる。

Q 火災予防思想の普及・啓発は火災の発生を大きく減少させる。当局、消防本部、消防団と連携した主な取組には、どのような活動があるか。

A 総務部長
各種行事を実施するにあたっては、消防本部、二市一町の正副団長、各市町の担当者が集まり、連絡会議を実施している。会議では、各消防団の役割分担・協力体制の確認や火災予防活動等の取組計画について情報交換を行っている。具体的な活動については、二市一町消防合同出初式、春と秋の火災予防活動、年末特別警戒などがある。

Q それら啓発活動がら上がってくる諸々の要望に対し、当局として十分な対応・フォローはしているか。

A 総務部長
消防団からの要望に対しては、役員会を開催し、各種活動内容に対する団員からの意見や要望

を踏まえたうえで、実施している。消防団活動への支援としては、必要な備品などの購入を行っている。また、各種活動の通知の際には、通知文の発送と併せ、消防団メールの配信により団員が活動しやすい環境の整備に努めている。



▲年末特別警戒にあたる団員

豊山中学校英語部

私がかんばっていることは部活動です。私は豊山中学校英語部の二員として活動しています。主な学校外での活動は、スピーチコンテストへの出場です。

11月17日に第1回南山大学オーラルインタープリテーションフェスティバルに1年生5名、2年生6名、計11名で出場しました。去年は、コンテストに出場しましたが、今回は初めてのフェスティバルでした。夏休み前から練習

翔びたて豊山っ子!



をしてきて、「あれでもない」「これでもない」と試行錯誤しながら、当日まで練習を重ねました。13チーム出場のうち、中学校1校でしたが、高校生に負けない発表をしました。発表後は他校の先生方におほめの言葉をいただき、これからの自信になりました。2年生の私は、最後の団体での出場でしたがとても楽しかったです。これから、たくさんのスピーチコンテストへ出場しもっと成長していきたいです。



しみず あこ
清水 亜子

春夏秋冬

今の議会広報編集委員会で作る議会広報は、3月の議会広報が最後である。それは、平成最後の議会広報となる。

これまで約150を数える議会広報が編集されてきた。その過程でみなさんにとつて分かりやすい、伝わる、読みたくなるような議会広報を目指して、今の議会広報の形になっていると思う。

ところで、先に行われた町民討議会、行政や議員が「伝えているのに伝わっていないかった」という事例が多々あった。こちらが伝えているつもりでも、それがみなさんに伝わらず、理解されなければ伝えたことにはならないという、厳しい現実を突きつけられた。

それは議会広報についても同じことだ。みなさんに伝わっているか、常に意識して作っていくかなければならない。それは平成という時代を超えた永遠の宿題である。
(R・Y)

表紙のコメント

平成31年1月4日、町内141人が成人を迎え、社会教育センターにて平成最後の成人式が行われました。晴天に恵まれ、玄関で談笑しあう新成人たち。式の前の和やかさがあふれています。

議会の傍聴にきてください

次回定例会の予定	
3月 4日(月) 開会・議案説明	3月13日(水) 議案質疑
3月11日(月) 一般質問	3月14日(木) 福祉建設委員会
3月12日(火) 議案質疑	3月15日(金) 総務文教委員会
	3月19日(火) 討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分から(最終日は午後1時30分から)
議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

広報編集委員

委員長	岩村 みゆき
副委員長	山本 亮介
委員	大口 司郎 岡島 政信 坪井 孝仁

寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催しものへ差し入れることを禁止されています。有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いします。